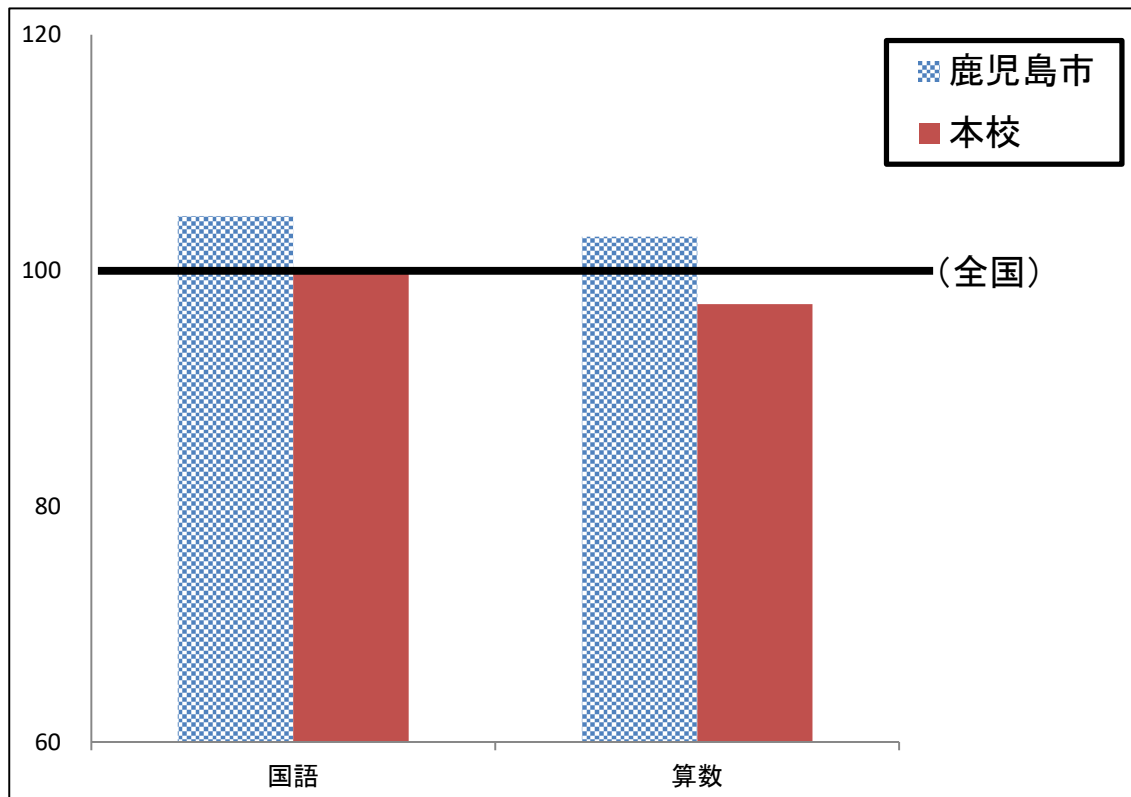


令和3年度全国学力・学習状況調査結果について

鹿児島市立花野小学校

1 自校・市・全国の平均正答率の比較

〈 全国平均正答率を100とする棒グラフ 〉



2 自校の課題に対する改善策

〈国語〉

複数の資料を基に理由を説明することに課題が見られた。説得力のある説明をする際には、理由や根拠となるキーワードを見付け出し、そのキーワードと関連付けて考えを整理したり、表やグラフなどの資料から得た情報を適切に関連付けたりしながら、自分の考えを説明することができるような指導や友達と相互に吟味し合う活動等に取り組む。また、条件に沿った文章を書くことにも課題が見られた。条件のある文章を書く際には、条件の内容をしっかりと把握し、それを満たすために必要な情報を読み取ったり、決められた時数内に書き表したりしながら、自分の考えをまとめることができるような指導に取り組む。

〈算数〉

必要な情報とグラフを関連付け、総数や割合・変化に着目しながら解釈し、それを選択することに課題が見られた。グラフの特徴を複数の観点で捉えて、情報を読み取ったり、目的に応じてグラフを新たに作り、複数のグラフを関連付けて考察したり、表現したりする指導の工夫に取り組む。また、数量関係(速さや割合など)や図形の測定(面積)を公式を活用して求めることに課題が見られた。公式の意味を考えたり、言葉の式に表したりしながら、正確に理解した上で問題を解けるような指導に取り組む。

〈全体的に〉

児童質問紙の結果から、自分の考えを表現することに苦手意識をもっている児童が多いことが分かった。様々な場面(授業や学校行事・特別活動など)で表現の仕方を教えるとともに、グループ活動や代表挨拶などで経験を積ませる。また、生活習慣(睡眠時間や朝食・メディアとの関わりなど)や学習習慣(家庭学習や読書など)が身に付いており、学校のルールやマナー・友達との約束を守りながら、落ち着きのある充実した生活をしていることが分かった。今後は、さらに「子供を認める言葉がけ」を行い、自己肯定感を高めていく。